

# 最上小国川清流未来ニュース

令和3年12月20日 発行  
最上小国川清流未来振興機構

第24号

## 特集 最上小国川流域の振興に向けた取り組み

下の図は、平成27年4月に策定した「最上小国川清流未来振興計画」です。この計画に基づいて、現在、様々な取り組みが進んでいます。

最上小国川清流未来ニュースでは、こうした取り組みの動きについて、毎号、ご紹介していきます。

今回は、その中から4つの取り組みについてご紹介します。

※アユは最上小国川全川で放流



舟形若あゆ温泉

- 凡例
- 印：地域の将来像を実現するための施策
  - 印・番号なし：全域、全川が対象の施策
  - ◎印：複数箇所を実施する施策の代表箇所



### 先人から引き継ぎ、未来に伝える 清流文化 最上小国川

#### おもてなしの 心で癒す

目標：地域の観光  
者数150万人を  
目指す。

- 物販及び情報発信施設新設の検討
- 流水型ダム周辺整備**
- 月楯橋・満沢橋付近での駐車場と進入路の整備
- 遊歩道の整備
- 共同浴場とふかし湯の整備**
- 歴史的な赤倉温泉街の継承・発展

裏面で紹介

- 温泉地等の魅力向上の推進
- 「川の駅」でのイベント開催
- 親水空間創出の推進（向町）
- 親水空間創出の推進（舟形）
- 親水空間創出の推進（瀬見）
- 川床の茶屋設置方策の検討
- イベントの連携検討

：令和2年度まで完了



小学生のサクラマス放流体験



「おくのほそ道」  
赤倉ゆけむり館

#### 清流を守り・ 育て・活かす

目標：アユの放流量と漁獲量50%増を目指す。

- アユ等の放流
- 1 アユ放流事業への支援
- 2 水源井戸の整備
- 3 アユ中間育成とサケのふ化場の併用施設整備
- 4 サケふ化施設の遊休期間を活用したアユ種苗生産の増大
- 5 中間育成技術の継承と人材確保・育成
- 6 環境モニタリング
- 7 魚道改修・修繕の検討・実施（一部完成）
- 8 河川工事における環境対策
- 9 計画的な保安林の指定
- 10 水辺林、溪畔林の整備
- 11 合併浄化槽の整備
- 農薬等の低減
- 間伐材の搬出・主伐後の再造林
- 河道・森林整備の促進
- アユの生息に配慮した河道整備



アユ中間施設育成とサケふ化場の併用施設（舟形町舟形）

#### 川を知り 川に親しむ

目標：中学生以下の最上小国川のイベント参加者数年間8,000人を  
目指す。

- アユ釣り大会の開催
- 川魚のつかみ取り大会や放流事業の開催**
- イwana、サクラマス等の産卵場造成
- 遊漁券の販売促進
- ふながた若鮎祭りにおけるアユ利用促進**
- 釣り場のアクセス改善
- 最上小国川鮎釣り甲子園大会の開催
- イベントの連携協定

裏面で紹介

裏面で紹介

#### 治水や治山で 自然と共存する

目標：50年に1度の洪水を安全に流せるようにする。

- 最上小国川流水型ダム整備**
- 河川整備（長沢・舟形地内）
- 河川整備（大堀地内）
- 赤倉地区内水対策（一部完成）**
- 河川情報の提供（ライブカメラ設置）
- 河川環境の創出（赤倉地区）
- 河川の効果的な維持管理
- 防災意識向上の推進
- 水位等の河川情報の提供
- 克雪対策の推進
- 河床低下防止と河川施設の保護

#### 地元ブランドで活性化する

目標：雇用の確保につながるブランド品の創出3品目を  
目指す。

- 6次産業化の推進（アユ加工品等の開発支援）
- 地域ブランド商品の開発
- 木質バイオマスの利活用の推進



最上小国川流水型ダム  
（令和2年4月運用開始）



## 最上小国川の鮎の販売促進特集

### 鮎のドライブスルー販売！

毎年9月に開催してきた「ふながた若鮎まつり」が、昨年に引き続き今年も、コロナの影響で中止となりました。

それでも、舟形町の特産であるアユを多くの方々に味わっていただきたいという思いから、コロナ対策を講じつつ、9月11日・12日にアユパークを会場に、完全予約制のドライブスルー販売が行われました。今回は焼き鮎に加え、冷凍鮎や舟形美食の丘 レストラン ラ・テールの鮎天丼を販売しました。



また、9月23日～25日には小国川漁協で冷凍と生の鮎を、11月2日・3日には小国川漁協と「あゆっこ村」で冷凍鮎、焼き鮎や鮎ご飯などをドライブスルー販売しました。多くの販売機会を設け、最上小国川の味覚を町内外よりたくさん味わっていただきました。

コロナの状況は、まだまだ先が見通せない情勢が続きますので、感染対策に十分に配慮しながら、今後もアユを多くの方にお届けできるよう取り組んでまいります。

- 小国川漁業協同組合：0233-32-2892
- 舟形町振興公社（舟形若あゆ温泉）：0233-32-3655
- 舟形町まちづくり課：0233-32-0844



### 山形新幹線で鮎を東京へ！



山形県とJR東日本グループでは、山形の食材を首都圏の皆様楽しんでいただくため、列車を活用した荷物輸送に取り組んでおり、10月1日には、山形新幹線で最上小国川の鮎が東京に輸送されました。

当日未明にヤナ場へ上がった天然鮎など冷蔵・冷凍鮎約6kgを乗せた「つばさ」が、午前7時16分に新庄駅を出発しました。

高鮮度のまま輸送された鮎は午前10時48分に東京駅に到着し、その後「羽田市場食堂 東京駅店」のランチタイムで塩焼きや天ぷらで提供され、召し上がった方からご好評をいただきました。

今回の取り組みを通して、最上小国川を県外へ広くPRすることができたと考えております。

- 最上総合支庁総務課連携支援室：0233-29-1240



### 子どもたちの川魚つかみ取り

最上町の大堀地区下白川で、毎年8月第1日曜日に行われている『川魚つかみ取り』は、今年で41回目を迎えました。安全を確保しながら川魚との触れ合いの場を設け、魚の棲む環境美化の意識を高めながら、郷土愛を育むことを目的に取り組んでおります。集落の公民館長をはじめとした、たくさんの方々の有志の方々に支えられながら、回を重ねて来ました。



河川に作ったつかみ取りエリアには、水滴だらけの笑顔が弾けます。近年では、「焼き魚交換コーナー」を設け、家庭ではなかなか味わえない炭火焼き魚を楽しんでもらっています。

新型コロナウイルス感染症の感染対策には十分配慮しながら、河川への環境美化に目を向ける機会として今後も続けていきたいと考えております。

- 最上町大堀地区公民館：0233-44-2820
- 最上町交流促進課：0233-43-2262

### 最上小国川流水型ダムの見学について（4月下旬～11月中旬）

令和2年4月より運用を開始した最上小国川流水型ダムですが、これまでは新型コロナウイルス感染防止のため、見学はご遠慮をいただいております。

10月上旬より、最上地域や県内でも感染状況が落ち着いていることから、見学をご希望される場合は、個別にご案内をさせていただきます。



現在は、県道の冬期閉鎖により、見学を中止しておりますが、来季4月下旬から感染状況を把握しながら、見学を再開させていただく予定でありますので、下記連絡先までお電話ください。

なお、現在も周辺整備が途上であり、安全上の事情によりお入りをご遠慮いただいている箇所もありますので、恐れ入りますが御理解と御協力をお願いします。

- 最上総合支庁河川砂防課：0233-29-1413

#### 【お問い合わせ先】

最上小国川清流未来振興機構事務局（最上総合支庁総務課連携支援室内）：0233-29-1240

※ 機構のFacebook・ホームページで、構成団体の取組みや流域のイベント等を紹介していますので、ぜひご覧ください。



★Facebook

【Facebook】ぜひ「いいね！」をお願いします！

<https://m.facebook.com/seiryumogamiogunigawa/>

【ホームページ】

<http://seiryu-mogamiogunigawa.jp/>



★ホームページ